

東京都写真美術館

恵比寿ガーデンプレイス内 地下1階展示室

# 見えない世界のみつめ方

Quest for Vision 映像をめぐる冒険  
BEYOND THE NAKED EYE  
www.syabi.com



## 2011/12/13(火) - 2012/1/29(日)

doubleNegatives Architecture [dNA] 小阪 淳 KOSAKA Jun 鳴川 肇 NARUKAWA Hajime

観覧料＝一般500円[400]円／学生400円[320]円／中高生・65歳以上250円[200]円 ※1 内は20名以上の団体料金。東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料。開館時間＝10:00～18:00(木・金は20:00まで) ただし2012年1月2日・3日は11:00-18:00、入館は閉館の30分前まで 休館日＝毎週月曜日(1月9日祝日は開館、翌10日閉館)、12月29日～2012年1月1日、1月4日 会場＝東京都写真美術館 地下1階展示室 主催＝東京都 東京都写真美術館／産経新聞社 支援＝文化庁メディア芸術人材育成支援事業 協賛＝凸版印刷株式会社 協力＝NECディスプレイソリューションズ株式会社／日本科学未来館／株式会社ライゾマティクス／株式会社学研教育出版 後援＝サンケイスポーツ／夕刊フジ／フジサンケイビジネスアイ/iza!／SANKI EXPRESS 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 Tel.03-3280-0099

Quest for Vision 映像をめぐる冒険

# 見えない世界のみつめ方 BEYOND THE NAKED EYE

東京都写真美術館では2008年より映像部門の5つの基本コンセプトから毎年1つを取りあげるシリーズ企画「映像をめぐる冒険」を開催しています。今年は「拡大と縮小」というコンセプトを出発点に、さまざまなメディアや観測方法を生み出し、観測可能な世界を拡大していく人間の営みにフォーカスをあてます。

望遠鏡の発明は、天動説から地動説への大きな世界像の変換をもたらし、その後、新しいメディアの登場によって、人間の観測可能な領域は広がっていきました。その度に人間は数多の世界の姿を想像し、今なお新しい世界像が生まれています。今回は17世紀を中心とした天文学の書籍や観測という視点で撮影された写真群に加え、doubleNegatives Architecture[dNA]、小阪淳、鳴川肇らの作品を展示します。独自の視点による、空間の表記方法、生態系のシミュレーション、世界地図の表記方法から生まれる彼らの作品は、自分たちの見ている世界と世界の在り様の関係を考えてくれます。

小阪 淳 (KOSAKA Jun)

1966生まれ。1994年～2000年SFマガジン(早川書房)装画担当。2000年～2004年、2010年～現在、朝日新聞にビジュアル連載。2004年沖縄市ワンダーミュージアムに作品常設。国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト(4D2U)に参画。2006年Sony Explora Science(北京)に4作品常設。文部科学省「一家に一枚宇宙図2007」制作に参加。2007年カンヌ国際広告祭2007Cyber Lions銅賞受賞。2010年東京書籍「宇宙に恋する10のレッスン」出版(共著)。美術、建築、グラフィック、ウェブなど横断的に活動している。

doubleNegatives Architecture [dNA] (ダブルネガティヴス アーキテクチャー)

98年に建築家市川創太を中心に結成された建築グループ。プロジェクトごとに異分野の専門家メンバーを編成し、多様なメディア、プラットフォームを横断しながら建築のビジョンを提示している。2005年から展開中の《Corpora》プロジェクトは、07年に山口情報芸術センターにて《Corpora in Site》として拡張、新作発表した。このインスタレーションは08年ベネチア・ビエンナーレ国際建築展でハンガリー国代表として出展されるなど、世界6都市で公開されている。多摩美術大学Algorithmic Wall、BAU advertising office、アーティスト中谷芙二子のコラボレーション「MU: Mercurial Unfolding」など。

鳴川 肇 (NARUKAWA Hajime)

1971年生まれ。2001年 VMX Architects入社。2003年佐々木睦朗構造計画研究所入社。2009年AuthaGraph株式会社設立。同年、ICC「オープン・スペース 2009」において面積が極力正しい独自の長方形世界地図、「オーサグラフ世界地図」を初公開。2011年6月、日本科学未来館にて基本設計、実施監修に携わったつながりプロジェクトが公開。桑沢デザイン研究所、東京造形大学非常勤講師

### 関連事業

・特別対談シリーズ

出品作家と多彩なゲストによる連続対談企画を開催します。

- 12月25日(日)15時～16時30分 市川創太(dNA)×平田晃久(建築家)
- 2012年1月8日(日)15時～16時30分 小阪淳×飯田和敏(ゲームクリエイター)
- 2012年1月22日(日)15時～16時30分 鳴川肇×田中良治(WEBデザイナー)

会場：東京都写真美術館 1階アトリエ(定員70名)  
受付：当日10:00より当館1階受付にて整理番号付き入場券を配布します。(整理番号順入場、自由席)  
※入場無料・会場は開演の30分前より・どなたでもご参加いただけます。

・科学史の夕べ×SPACE SOUND

大阪市立科学館学芸員の嘉数次人さんによる天文学史のレクチャーと国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト(4D2U)にも参加されていた音楽家、宮本朝子さんによるライブ演奏を行います。

2012年1月7日(土)16時～17時30分 嘉数次人(大阪市立科学館主任学芸員)×宮本朝子(音楽家)

会場：東京都写真美術館 2階ラウンジ(定員50名)  
※入場無料・どなたでもご参加いただけます。

・フロアレクチャー

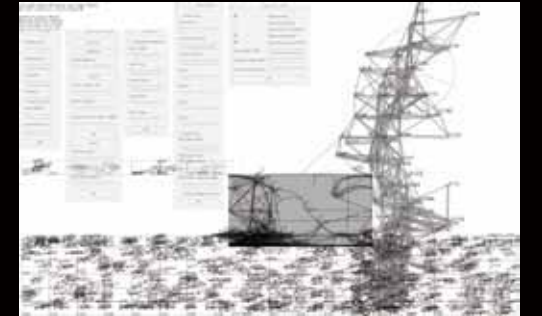
会期中の第1・3金曜日 午後2時より担当学芸員による展示解説を行います。展覧会チケットの半券(当日有効)お持ちの上、展示室入口にお集まり下さい。※やむを得ぬ事情により、関連事業を予告なく変更することがございます。その他の関連企画・最新情報につきましては美術館ホームページをご確認ください。

### 展覧会告知

・第4回 恵比寿映像祭「映像のフィジカル」 2012年2月10日(金)～2月26日(日)



小阪 淳 《VIT (Ver.1.5)》 2009年



doubleNegatives Architecture 《corporate eye》(2009年参考イメージ)



鳴川 肇 《AuthaGraph World Map》 2009年



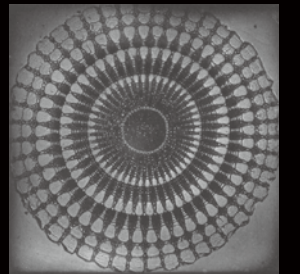
レギオモンタヌス 『プロトマイオスのアルマゲスト概要』1496年初版(京都産業大学図書館所蔵)



ガリレオ・ガリレイ『天文対話』1632年初版(大阪市立科学館所蔵)



NASA《宇宙への旅—25年の歴史》1991年(東京都写真美術館蔵)



ウィリアム・ベンジャミン・カーター《ウニのどげの断面》1848-49年(東京都写真美術館蔵)

東京都写真美術館 www.syabi.com

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 Tel.03-3280-0099

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分。東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。当館には専用駐車場はございません。お車のご来館の際は近隣の駐車場をご利用下さい。

